

がんゲノム医療について

—精密医療の到来？—

2019年6月から、2つのがん遺伝子パネル検査が保険適用になり、癌に対する薬物治療は、遺伝子(ゲノム)の異常に基づく治療に変わりつつあります。

がんゲノム医療は、いわゆる精密医療(プレジジョンメディシン)の一つであり、正しく理解することが必要です。

令和2年

日時

2月24日(月・振休)

12:30開場 / 13:00開演(15:45閉演予定)

会場

グランフロント大阪北館 B2F
ナレッジキャピタル
コングレコンベンションセンターホール

主催 公益財団法人SGH財団
後援 公益財団法人日本対がん協会
協力 SGホールディングスグループ

スケジュール

12:30 開場

13:00 開演

主催者挨拶

公益財団法人SGH財団理事長

SG ホールディングス株式会社代表取締役会長

佐川急便株式会社会長

栗和田 榮一

基調講演

がんゲノム医療とは？

京都大学医学部腫瘍薬物治療学教授

武藤 学

講演

がんゲノム医療の世界的動向

東京医科歯科大学医学部附属病院腫瘍センター准教授

池田 貞勝

がんゲノム医療における遺伝性腫瘍

京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学教授

小杉 眞司

膵がん・希少がん患者の希望に繋がるゲノム医療

特定非営利活動法人パンキャンジャパン理事長

一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク理事長

眞島 喜幸

休憩

パネルディスカッション

司会 武藤 学

パネリスト 池田 貞勝, 小杉 眞司, 眞島 喜幸

挨拶

日本赤十字社和歌山医療センター院長

平岡 眞寛

15:45 閉演

コーディネーター

武藤 学

司会

平岡 眞寛

植月 百枝



「がん」は、遺伝子(ゲノムともいいます)の異常でおきる病気とされています。明らかにがんの原因となるゲノム異常は、数%の場合が多いですが、それを標的とした薬剤(分子標的薬剤といいます)の開発が進み、治療成績は向上しています。最近、ゲノム解析技術の進歩、特に次世代シーケンサー(Next generation sequencer, NGS)の登場により、高速かつ網羅的にゲノム解析をすることが可能になってきました。そのため、それぞれのがんで起きているゲノム異常に合わせて、効果が期待出来て、副作用が少ないと予想される治療薬を選択するという「がんゲノム医療」の時代になろうとしています。

京都大学医学部腫瘍薬物治療学教授

武藤 学

学 歴

平成 3(1991)年 福島県立医科大学卒業

職 歴

平成 3(1991)年	いわき市立総合磐城共立病院(福島県)
平成 7(1995)年	国立がんセンター東病院
平成13(2001)年	国立がんセンター研究所支所がん医療開発部室長
平成19(2007)年	京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座准教授
平成24(2012)年	京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座教授 京都大学医学部附属病院腫瘍内科科長
平成30(2018)年 4月	京都大学医学部附属病院がんゲノム医療部部长(併任) クリニカルバイオリソースセンター長 次世代医療・iPS細胞治療研究センター長(併任)
平成31(2019)年 4月	京都大学医学部附属病院病院長補佐(併任)

受賞歴

平成22(2010)年 財団法人高松宮妃癌研究基金学術賞など19件受賞

講演「がんゲノム医療の世界的動向」



がんゲノム医療は日本に限らず世界の他の国々でも行われています。先行しているアメリカでは2017年からがん遺伝子パネル検査が保険収載され、多くの患者さんに活用されています。また、検査を行うだけでなく遺伝子変異に対応した治療法の開発も活発に行われており、治療成績の向上が期待されています。今後もがんゲノム医療は発展が望まれる分野です。日本ではがん遺伝子パネル検査を行うだけでなく、発見された遺伝子変異情報や治療の情報を国立がん研究センター中央病院に設置した「がんゲノム情報管理センター」に集め、最先端の新薬開発や診断法の開発に活かす試みが始まっています。

東京医科歯科大学医学部附属病院腫瘍センター准教授

池田 貞勝

学 歴

平成13(2001)年 3月23日 北海道大学医学部卒業

職 歴

平成13(2001)年 4月 1日 聖路加国際病院外科研修医

平成16(2004)年 9月26日 チルドレンズ ホスピタル ボストン

ハーバード大学医学校 リサーチフェロー

平成20(2008)年 7月 1日 ベスイスラエルメディカルセンター 内科研修医

平成23(2011)年 7月 1日 ミシガン大学 血液・腫瘍内科 フェロー

平成26(2014)年 8月 1日 カリフォルニア大サンディエゴ校 助教

平成28(2016)年 3月 1日 東京医科歯科大学 特任助教

平成29(2017)年 4月 1日 東京医科歯科大学 特任講師

平成31(2019)年 1月 1日 東京医科歯科大学 准教授

現在に至る

講演「がんゲノム医療における遺伝性腫瘍」



がんゲノム医療は、分子標的治療薬の開発と次世代シーケンサーによる網羅的ゲノム解析技術の進歩によって可能となった。がん遺伝子パネル検査で見いだされる病的変異は、治療の対象となりうるものであるが、生殖細胞系列の病的バリエーションが同時に見いだされることがある。それは、遺伝性腫瘍の原因遺伝子であることが多い。そのため、意図せず、遺伝性腫瘍が診断されることがある。遺伝性腫瘍においては、原因遺伝子によって、腫瘍の発生しやすい臓器が明らかになるため、適切な検診によって早期診断早期治療が可能となる場合が多く、患者のみならず家族の健康管理にも有用な情報となる。

京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学教授

小杉 眞司

学 歴

昭和58(1983)年 3月 京都大学医学部卒業

平成 元(1989)年 3月 京都大学大学院医学研究科博士課程(井村内科)修了

職 歴

昭和58(1983)年 6月 神戸市立中央市民病院内科

平成 元(1989)年11月 NIH Visiting Fellow

平成 5(1993)年 4月 京大病院検査部助手

平成12(2000)年 8月 京都大学臨床病態検査学講師

平成16(2004)年 3月 現職

講演「膵がん・希少がん患者の希望に繋がるゲノム医療」



米国ではがんゲノム医療が進んでおり、膵臓がん患者もF1CDx、MSK-IMPACTなどの「がん遺伝子パネル検査」を受け、がん遺伝子変異にマッチした治療が受けられるようになってきた。希少がんの領域でも、ゲノム医療が到来し、患者の治療選択肢の拡大に繋がることが期待されている。米国では治療の選択肢としてFDA承認された分子標的薬、数々の臨床試験、さらにバイオマーカーベースの適応外薬の使用が可能であるが、日本では、PMDA承認された薬剤はあるが、臨床試験が潤沢にあるわけではなく、また、バイオマーカーがマッチしても適応外薬が使用できない状況である。従って、ゲノム医療の恩恵を患者が享受するためには、まず患者が声をあげ、制度改革を医療関係者、行政とともに進める必要がある。

特定非営利活動法人パンキャンジャパン理事長
一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク理事長

眞島 喜幸

学 歴

昭和47(1972)年 6月 Ottawa University卒業

昭和57(1982)年 6月 UCLA School Of Public Health卒業

職 歴

昭和43(1968)年 9月 Ottawa University

昭和54(1979)年 9月 UCLA School of Public Health Research Projects

昭和57(1982)年 9月 Rand Corporation

昭和59(1984)年 9月 Zemi Corp.

平成18(2006)年 1月 NPO法人パンキャンジャパン



日本赤十字社
和歌山医療センター院長

平岡 真寛

個々のがんのゲノム(全遺伝子)情報に基づき、各患者に合わせたがん医療を提供するがんゲノム医療が医療現場において動き出しました。今回のSGH財団第18回市民公開講座では、このゲノム医療に焦点を当て、国内外の現状、ポテンシャル、普及するに当たっての課題などについて、各エキスパート、患者団体の代表者により講演していただきます。今後のがん医療の本流になると言われるゲノム医療について、一緒に考える機会になることを願っています。

学 歴

昭和52(1977)年 3月 京都大学医学部卒業
昭和59(1984)年 3月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

職 歴

昭和59(1984)年 4月 京都大学医学部附属病院放射線科助手
昭和62(1987)年 1月 米国スタンフォード大学放射線腫瘍科客員助教授
平成 元(1989)年 6月 京都大学医学部講師
平成 4(1992)年 1月 京都大学医学部助教授
平成 7(1995)年 6月 京都大学大学院医学研究科教授
平成19(2007)年 4月 京都大学医学部附属病院がんセンター長 併任(～平成21年5月)
平成24(2012)年12月 京都大学産官学連携本部副本部長
平成28(2016)年 4月 日本赤十字社和歌山医療センター院長

司会

フリーアナウンサー

植月 百枝

これまでの市民公開講座

第17回「がんとともに生きる ～患者に寄り添う医療とは?～」

開催日:平成31年2月24日(日) 会場:ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)

第16回「こんなに進んだ!肺がん治療の最前線」

開催日:平成30年2月18日(日) 会場:ハービスOSAKA ハービスHALL(大阪市)

第15回「こんなに進んだ大腸がん診療!」

開催日:平成29年2月26日(日) 会場:ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)

第14回「泌尿器科がん:診断・治療の最前線」

開催日:平成28年2月21日(日) 会場:新大阪イベントホール レルミエール(大阪市)

第13回「こんなに進んだ乳がん治療!」

開催日:平成27年3月15日(日) 会場:大阪国際会議場(大阪市)

第12回「輝いて生きる」

開催日:平成26年2月16日(日) 会場:よみうりホール(東京都千代田区)

第11回「がんと人生」

開催日:平成25年3月24日(日) 会場:有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

第10回「子宮がんの予防と治療」

開催日:平成24年3月20日(火・祝) 会場:国立京都国際会館(京都市)

第9回「乳がんの治療と診断」

開催日:平成23年3月27日(日) 会場:京都大学 時計台ホール(京都市)

第8回「集学的がん治療 ～治療成績向上を目指したチーム医療～」

開催日:平成22年3月28日(日) 会場:京都大学 時計台ホール(京都市) 共催:文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

第7回「がん治療最前線 ～大きく変わるがん治療(薬物、放射線、外科治療)～」

開催日:平成21年3月22日(日) 会場:東海テレビ テレビピアホール(名古屋市) 共催:NPO法人日本臨床腫瘍学会

第6回「府民とともに考える京都のがん医療」

開催日:平成20年2月2日(土) 会場:京都産業会館 シルクホール(京都市) 共催:京都新聞社

第5回「大腸がんの最前線」

開催日:平成19年3月17日(土) 会場:京都市北文化会館(京都市)

第4回「肺がんの最新情報」

開催日:平成18年3月25日(土) 会場:京都産業会館 シルクホール(京都市)

第3回「がんの予防と胃癌治療の最前線」

開催日:平成17年2月26日(土) 会場:京都会館第二ホール(京都市)

第2回「前立腺がんの最新情報」

開催日:平成16年3月20日(土・祝) 会場:国立京都国際会館(京都市)

第1回「乳がんの最新情報」

開催日:平成15年2月1日(土) 会場:京都市北文化会館(京都市) 共催:京都新聞社

= MEMO =

公益財団法人SGH財団概要

設 立 昭和61年2月14日(平成22年11月1日公益財団法人へ移行)

理事長 栗和田 榮一
(SGホールディングス株式会社代表取締役会長／佐川急便株式会社会長)

目 的 国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、経済・産業、教育・文化、医療・福祉等の振興・発展を図るための研究及び事業への助成等を行う。

事 業 東南アジア諸国からの外国人留学生に対する支援事業
がん(癌)に関する基礎研究及び応用治療研究に対する助成・褒賞等の支援事業
経済・産業活動を支える運輸・物流に関する支援事業
上記に関する情報資料収集及び出版物の刊行、講演会等による普及・啓発活動 など

所在地 〒600-8009 京都市下京区函谷鉾町79 ヤサカ四条烏丸ビル9階
TEL: 075-255-9310 FAX: 075-255-9311
e-mail: info_cr@ sgh-foundation.or.jp URL: <https://www.sgh-foundation.or.jp>



公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)

[休 館 日] 月曜日(祝日に当たる場合はその翌日)、年末年始、展示替期間

[入 館 料] 一般1,000円／高大生600円／中学生以下無料(※保護者の同伴が必要)

[所 在 地] 〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891
TEL: 077-585-7800 FAX: 077-585-7810

比叡・比良山を望む琵琶湖のほとりに佇む佐川美術館。水庭が建物を取り囲むように大胆に配置され、「水に浮かぶ美術館」と称される館は和の印象を重視し、モノトーンを基調とした南北2棟と水庭の地下展示室からなり、水の揺らぎや光と影を演出しています。

日本画家・平山郁夫、彫刻家・佐藤忠良、陶芸家・十五代樂吉左衛門・樂直入の3作家の展示を中心に、ジャンルを問わずバラエティーに富んだ展覧会やイベントを開催しています。